

松村外次郎と 庄川のこどもたち展	1/16(土) ～ 2/7(日) (20日間)	庄川小学校2年生の図画26点と収蔵品 36点を展示した。	258
実技講座 町並みを描く(洋画) 干支を彫る(木版画)	9/26(土)～ 9/27(日) 11/28(土)～ 11/29(日) (4日間)	県内講師を招き作品をつくる実技講習 を行った。	22
調査研究	年 間	松村外次郎、藤森兼明らの作品研究、 企画展・常設展における出品作家の調 査を行った。	

④ 常設展事業

名 称	会 期 (日数)	内 容	入場者数 (人)
常設展示	4/1(水) ～ 3/31(水) (289日間)	収蔵美術品より松村外次郎の代表作 を展示した。アプローチギャラリー は展示入れ替えを5回行った。	4,814

⑤ 広報事業

広 報	年 間	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広 報、エフエムとなみ、ケーブルテレビ、美 術館ホームページ、マスコミなどで情報発 信を行った。	
-----	-----	---	--

⑥ 施設利用状況

項 目	利 用 日 数			観 覧 者 数		
	2年度	元年度	利用対比 R2/R1	2年度	元年度	利用対比 R2/R1
企画展	193日	240日	80.4%	4,356人	5,512人	79.0%
常設展	289日	313日	92.3%	5,015人	6,089人	82.3%
実技講座	4日	12日	33.3%	22人	537人	4.0%

(6) 庄川水資料館博物館事業

- ① 常設展示室において、「流木に生きた先人たち 流木と庄川」「川を治め、川を利す 庄川を生きる」のテーマに沿い、流木作業に携わった流送夫の生活資料や、治水・利水・流送に関する資料を展示した。また、松原遺跡（縄文時代）、小牧ダム関連資料も展示し、庄川の歴史を分かりやすく学べる場を設けた。
- ② 通路壁面を利用したミニギャラリーにおいて、時女信子書展、島田四郎洋画展、中学生清流展作品展等の美術館と連携した企画展を開催し、資料館、美術館ともに見ていただくよう努めた。

展覧会名	会期 (日数)	内容	入場者数 (人)
時女信子 書展	4/11(土) ～ 5/24(日) (18日間)	南砺市在住の前衛書家の「水」をテーマにした書 19点と、硯に水を注ぐ道具の水滴 38点を展示した。 《4/18～5/10臨時休館》	202
島田四郎 洋画展	6/6(土) ～ 7/5(日) (26日間)	庄川美術館の収蔵作品から「猫を抱く」「桔梗花」「鮮魚図」等の油彩や、庄川にちなんだ屏風絵作品「庄川峡左岸図・右岸図」等、島田四郎の作品9点を展示した。	244
中学生清流展作品展	7/23(木・祝) ～ 8/16(日) (25日間)	庄川美術館の「中学生清流展」に関連し、中学生清流展入賞作品より、平成21年度の作品8点を展示した。	418
晴被仁恵 墨流し展	9/12(土) ～ 10/11(日) (26日間)	墨流しは、水をはった容器に墨を垂らし、水面にできた模様を紙に写し取る手法。偶然できた形から連想された宇宙や滝のイメージから「宙」「沫」等のタイトルが付いている。黒部市在住の墨流し作家の新作15点で展示した。	368
石村歌知子 日本画展	10/24(土) ～ 11/23(月・祝) (27日間)	砺波市在住で、となみ野美術大賞受賞作家でもある日本画家の、近年制作された花や風景など、幅広い主題を描いた日本画16点を展示した。	718
織田定男 漆芸展	12/5(土) ～ 1/17(日) (31日間)	砺波市在住で、となみ野美術大賞受賞作家でもある漆工芸作家の日展出品作などを展示。艶やかな漆と、有機的な造形が組み合わさった作品8点のほか、漆の手板、原型、エスキース等の展示で、制作過程も紹介した。	159

③ 施設利用状況

施設名	利用日数			観覧者数		
	2年度	元年度	利用対比 R2/R1	2年度	元年度	利用対比 R2/R1
庄川水資料館	289日	313日	92.3%	2,447人	3,818人	64.0%

(7) 庄川水資料館施設貸与事業

① 映像ホール利用状況

年度	開催日数	映像ホール貸与日数
令和2年度	289日	0日
令和元年度	313日	0日

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
令和2年度	1.00000	0.00000	
令和元年度	1.00000	0.00000	

※貸与日数と各施設免責の積数による。

(8) 庄川生涯学習センター事業

① 施設の特徴を生かし、日本の伝統芸能の公演や最近話題の映画を鑑賞する機会を提供した。

公演名	期 日	内 容	備 考
名画祭 「リトルプリンス 星の王子様と私」	8/1(土) ※中止	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
庄川落語会 「三遊亭小遊三・ 古今亭菊之丞」	10/11(日)	笑点レギュラーとしてお馴染みの三遊亭小遊三師匠の巧みな話芸と粋な色気のある正統派古今亭菊之丞師匠の落語を堪能した。	入場者数 132人
富山県公立文化ホールネットワーク 公演事業 名画祭 「四月の永い夢」	12/5(土)	朝日町笹川地区がロケ地となった名画を、土曜日の午後のひととき家族連れで鑑賞する機会を提供し、映画の魅力を体感してもらった。	65人
富山県公立文化ホールネットワーク 公演事業 「0歳からのコンサートin庄川」	3/7(日)	郷土の音楽家5名の出演により、未就学児から児童まで子どもたちが、日頃聴き親しんでいる楽曲、アニメソングから懐かしい唱歌や有名なクラシック音楽を親子、家族で楽しんでもらった。	162人

② 広報事業

広 報	通 年	ポスター、チラシの配布や毎月発行の市広報、ホームページ、FMとなみ、民放放送等マスコミなどを通じて情報発信を行った。	—
-----	-----	--	---

(9) 庄川生涯学習センター施設貸与事業

① 施設利用状況

施設名	区分		利用日数			利用者数		
			2年度	元年度	利用対比 R2/ R1	2年度	元年度	利用対比 R2/ R1
庄川生涯学習センター	多目的 ホール	公益目的 利用日数	53日	82日	64.6%	4,265人	8,432人	50.6%
		収益目的 利用日数	14日	12日	116.6%			
		利用日数計	67日	94日	71.3%			
		利用率	24%	31%	—			
	その他 (7部屋)	公益目的 利用日数	247日	449日	55.0%	11,436人	21,133人	54.1%
		収益目的 利用日数	106日	147日	72.1%			
		利用日数計	353日	596日	59.2%			
		利用率	18%	28%	—			
	合計	利用日数	420日	690日	60.9%	15,701人	29,565人	53.1%
		利用率	19%	28%	—			

項目	公益目的事業	収益目的事業	備考
令和2年度	0.759	0.241	
令和元年度	0.814	0.186	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 各設備等の保守点検修繕等を適時適切に実施し、利用者の安全で快適な環境確保に努めた。

2 公益目的事業2

(1) 第69回砺波チューリップフェアについて

新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見通しや大規模イベント等の取扱いの見解に基づき、チューリップフェア主催者及び関係者会議において検討を重ねた結果、新型コロナウイルス感染症の拡大防止並びに来場者の健康及び安全を考慮し、チューリップフェアを中止する判断をした。

① 中止の理由

ア 新型コロナウイルス感染症対策専門家会議の見解に基づく、万全な感染対策を整えることができない。

イ チューリップフェアを開催して新型コロナウイルスが感染拡大した場合の影響が大きい。

② 中止の対応（都市公園の閉鎖）

ア チューリップ公園を4月11日から5月24日までの期間、閉鎖した。なお、公園の入場ができないように柵を設置するとともにチューリップフェアの中止の案内看板を設置したほか、職員及び警備員による巡回も行った。

イ 「あなただけのチューリップフェア」と題し、今回中止となったフェア会場（チューリップ公園）内をライブカメラ映像で配信したほか、プリンセスチューリップによる動画やドローンで撮影した上空からの映像も配信しPRを実施した。

ウ 会場装飾用のトロ箱植えチューリップを市内各地区へ約800箱を配布するとともに、一般の方を対象にトロ箱植えチューリップ（約3,400箱）やビオラ苗（約5,000ポット）の販売を実施し、チューリップの有効活用に努めた。

(2) 第70回砺波チューリップフェアについて

第70回フェアへ向けて「となみまるごとチューリップフェア」と題したプランターへのチューリップ球根を植込む市民参画事業を実施し、市内全21地区に配布した。

（各地区100個 合計2,100個 参加者230名）

また、第70回フェアへ向けた過去の振り返りも含めた映像を制作し、エージェントへの配布やキャンペーンで活用するとともに、新型コロナウイルス感染症対策交付金を活用し感染症対策物品を購入する等第70回のフェアを安心・安全に開催するための準備を行った。

(3) 花と緑の振興事業

花と緑の振興を図るため、次のとおり事業を実施した。

① 企画展示

花と緑の普及啓発のため、特別企画展秋季は「第19回となみチューリップ球根まつり」、冬季は「第35回春を呼ぶチューリップ展」を開催した。春季「チューリくん自慢のコレクション展」は、チューリップフェア同時開催のため中止とした。

また、小企画展として「ハンギングバスケット展」や「第25回押花展」、「チューリップ四季彩館スクール合同作品展」等を開催した。

ア 特別企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人数 (人)
※開催中止 春季特別企画展 「チューリくん自慢の コレクション展」	4/22(水) ～ 5/5(火・祝) (14日間)	砺波市のシンボルキャラクター「チューリくん」の家の前に広がる花壇に、東京オリンピックにちなみメダルの色が名前に入ったチューリップを展示。併せて、2019年秋に砺波市が皇室献上したチューリップの紹介とチューリップの切り花品評会の実施。※中止	チューリップフェア と同時開催
秋季特別企画展 「第19回となみチュー リップ球根まつり」	10/9(金) ～ 10/11(日) (3日間)	球根産地砺波をPRするイベントとして、県産球根100品種以上を販売。全品通常価格の2割引きとし、セット商品として皇室献上品種セットや福袋を用意した。球根詰め放題や寄せ植え体験は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止。	11,000
冬季特別企画展 第35回春を呼ぶ チューリップ展 「Wa!+」	1/29(金) ～ 2/14(日) (17日間)	促成栽培で咲かせた1万本のチューリップと早春の花々を展示し、ひと足早い春の訪れが感じられる展示を行った。あわせて、チューリップの切花販売コーナーを設け砺波産切花のPRを行うとともに、ミニSLに乗車しながら展示を観覧できる内容にした。	5,314

イ 小企画展実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
※開催中止 春を彩るハンギング バスケット展	4/22(水) ～ 5/5(火・祝) (14日間)	ビオラやゼラニウムなど春の花々を使ったハンギングバスケットの展示。 ※中止 (風車前広場)

初夏を彩るコンテナ ガーデン展	6 / 1 (月) ～ 6 / 7 (日) (7日間)	ペチュニアやペラルゴニウムなどを使用した寄せ 植えを展示した。 (ワンダーガーデン)
香りのハーブ展	6 / 12 (金) ～ 6 / 21 (日) (10日間)	バジルやローズマリー、セージなど色々なハーブを 展示した。 (ワンダーガーデン)
いろいろなペチュニア	7 / 3 (金) ～ 7 / 26 (日) (24日間)	バジルやローズマリー、セージなど色々なハーブを 展示した。 (ワンダーガーデン)
チューリップフェア 70回への歩み展	8 / 8 (土) ～ 8 / 19 (水) (12日間)	第1回～第69回までのチューリップフェアの足 跡をたどり、これまで製作した記念誌の内容及び写 真等を展示した。 (ホール2)
秋を彩るコンテナガー デン展	9 / 4 (金) ～ 9 / 27 (日) (24日間)	コリウスやサルビアなど秋の花々を使った寄せ植 えを展示した。 (ワンダーガーデン)
秋を彩るハンギングバ スケット展	10 / 9 (金) ～ 10 / 18 (日) (10日間)	日本ハンギングバスケット協会北陸支部の協力に よりハンギングバスケット15点を展示した。 (風車前広場)
四季彩館スクール合同 作品展	11 / 27 (金) ～ 12 / 6 (日) (10日間)	花の和紙ちぎり絵、三助焼陶芸、水引あそびのお花 たちコースの受講生の作品を展示した。 (文化会館多目的ホールホワイエ)
クリスマスローズ展	2 / 5 (金) ～ 2 / 14 (日) (10日間)	花の色や形など様々なバリエーションのある魅力 的なクリスマスローズを展示した。 (ワンダーガーデン)
球根植物のいろいろ	3 / 5 (金) ～ 3 / 14 (日) (10日間)	原種のチューリップをはじめ、アネモネやラナンキ ュラスなどいろいろな球根植物を展示した。 (ワンダーガーデン)

② 花と緑に関する教室、講演会の開催

花と緑に親しみ、楽しむため花と緑に関する教室及び講演会を開催した。

※チューリップ四季彩館臨時休館に伴い、5月開催分は中止とし、6月から実施。

ア 教室実施報告

1) 園芸教室

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花と緑のコース [全7回]	7	草花の土作りや防除について、園芸の基礎を学ぶ教室を開催した。	4
ハンギングバスケット コース [午前・午後 全8回]	4	季節のハンギングバスケットを作成する教室を開催した。	30

2) フラワーアート講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
花の和紙ちぎり絵 初級コース [全4回]	4	バラやリンドウなどの花をデザインしたちぎり絵を作製する教室を開催した。	9
花の和紙ちぎり絵 中級コース [全4回]	4	花や植物、自然をテーマにしたちぎり絵の大作を作製する教室を開催した。	7
三助焼陶芸コース [全5回]	5	三助焼で花器を作成する講座を開催した。	5
水引あそびの お花たちコース [全6回]	6	日本の伝統工芸である「水引」を用いて花を作成した。	3

3) 特別講座

名 称	日数	内 容	人数 (人)
楽しいキク作りコース [全6回]	6	キク苗の定植、剪定、夏に向けての管理など季節ごとの手入れについて学ぶ講座を開催した。	28

イ 講演会の開催

花と緑の推進と普及を図るため「花と緑のフォーラム」を開催した。

日 時 3月13日(土) 午後1時00分～

場 所 四季彩館チューリップホール

花と緑の銀行砺波支店長表彰、記念樹贈呈、砺波市緑花推進市民会議、事例発表

参加者数 150人

③ 情報の発信

広報となみを活用して、チューリップ四季彩館の特別展や常設展、園芸講座等に関する情報を発信した。

④ 緑花に関する事業の推進

市内公共施設や各地区の緑花推進協議会、協定地域へ花苗を配布したほか、地域の花づくり推進補助を行い、地域緑花を推進した。

私たちの夢花壇（市民参画花壇6区画、プランター37個）及び砺波市花と緑のコンクールを行い、緑花意識の高揚に努めた。

花と緑の銀行で実施している花のまちづくり新拠点創出支援事業に取り組み、市内小中学校3校（小学校2校、中学校1校）を対象に、子供たちの新たな緑花活動のきっかけとなるよう花壇づくりへの助成を実施した。

砺波花とみどりの少年団や砺波嵐山桜保存会の活動支援を行った。

砺波駅周辺や砺波インターチェンジ付近、庄川ふれあい花街道などにおいて、市街地活性化も含めて緑花推進を図るため、花や樹木の植込み及び維持管理を行った。

四季彩館の臨時休館に伴い、常設展示用のアイスチューリップを市内の保育所、幼稚園、認定こども園、小学校放課後児童クラブ（計25施設）へ配付し、緑花推進に有効活用した。

花と緑の銀行機関紙等に市内の緑花活動に関する内容を掲載するなど、花と緑のまち砺波市をPRした。

保存樹保全委員会は、屋敷林保全管理検討会と目的が似通っているため、統合し屋敷林等保全委員会とした。保存樹保全委員会は5月末廃止。保存樹に関する事務は継続。

(4) チューリップ四季彩館の管理運営事業

① 施設の管理

指定管理者として、チューリップ四季彩館の施設管理を適正に行った。年間を通じて展示スペース及びホールの施設管理を行い、照明設備や空調設備、消防設備点検を実施するとともに、消雪装置や照明灯修繕など施設維持管理を行った。

※10月19日(月)～1月28日(木) 設備更新工事のため臨時休館した。

施設利用状況

区 分	展 示 室 ※うち台湾利用者数	特別企画展示	ホール利用
利用 者 数	17,380人	16,314人	2,945人

項 目	公益目的事業	収益目的事業	備 考
令和2年度	0.855	0.145	
令和元年度	0.853	0.147	

※利用日数と各施設面積の積数による。

② 常設展示の企画、運営

年間テーマを「季節を彩る花々」とし、チューリップパレスのチューリップ展示とともに、季節の花々の展示を行った。

常設展示実施報告

テ ー マ	期 間
季節を彩る花々 ～春～	3/27(金)～ 5/13(水)
季節を彩る花々 ～初夏～	5/15(金)～ 6/17(水)
季節を彩る花々 ～夏～	6/19(金)～ 7/7(火)
季節を彩る花々 ～盛夏～	7/10(金)～ 9/8(火)
季節を彩る花々 ～秋～	9/11(金)～ 10/18(日)
季節を彩る花々 ～早春～	1/29(金)～ 3/24(水)

③ 展示植物の育成

当財団で栽培した植物を館内装飾として活用し、花展示の充実を図った。

④ 展示花壇及び植栽の管理等

四季彩館周辺樹木や彩りガーデン(県内で生産されている300品種花壇)などの管理を行った。屋外展示場では、樽プランターにベゴニア、インパチェンスなどを植込み展示した。

⑤ 四季彩館への誘客及び広告宣伝事業の実施

チューリップ四季彩館及びチューリップフェアへの誘客を図るため、北信越地区を中心にセールスコールを実施した。

ホームページには、チューリップフェア専用バナーを設けるとともに、フェアの動画(Youtube)、写真など多様な情報を発信した。また、英語、中国語(繁体字)のページにより、国外へのPRに努めた。

四季彩館及びチューリップフェアの動画DVD(日本語、中国語)や写真CDを関係機関に配布しPRに努めた。

10月に県内の観光施設及び宿泊施設と合同で、台湾旅行会社等に対し「富山DAY」台湾プロモーションを実施。(Zoomを使用)

四季彩館の展示内容やフェア期間中におけるチューリップの開花情報等をブログ、facebook、Instagramを通じて公開するとともに、積極的に情報提供の充実と誘客を図った。

部門名	期日	内容	備考
広報となみ	11回/年 ※4月無し	展示、イベント、ショップ等の新商品のPR 講座受講者の募集など	
メディア広報 (新聞、テレビ、ラジオ等)	随時	イベントの新聞広告(折込チラシ含む) イベント情報を提供し取材を受けるなど	
ホームページ、 インターネット広報	随時	ホームページやリップちゃんブログ、 facebook、Instagramにて、企画展、常設展、 イベント、ショップ等新商品のPR情報発信	
年間パスポート会員 募集	随時	随時会員募集。イベント案内の送付 ※四季彩館及びチューリップフェアの入場が無料	

⑥ 四季彩館の利用促進の実施

四季彩館の利用促進のため、結婚写真撮影や市内企業商品のPR映像収録の協力など、新たな利用方法を発信するとともに、年間パスポート会員の募集を積極的に行った。

カフェかくれ庵(喫茶店)や(一社)砺波市観光協会売店部門の魅力アップに協力し、四季彩館利用者の満足度の向上に努めた。

また、チューリップホールを積極的にPRし、利用促進を図った。

(5) チューリップ公園等の管理運営

① 公園施設及び植栽の管理

指定管理者として、チューリップ公園(約69,700㎡)、フラワーロード(約2,900㎡)、フラワーフロンティアエリア(約2,800㎡)及びその周辺の施設や植栽の管理を適正に行った。春のチューリップのほかに、夏花壇として、コキアを中心に植栽し「元気モリモリ花壇」と名付け、秋まで鑑賞できるように花壇管理に努めた。

チューリップへの関心と理解を深めるとともに、市民参加型のチューリップフェアを推進するため、小学生によるチューリップ球根植え込み事業を実施した。

チューリップ公園の通年利用と活性化を目的として、五連水車や遊具等施設の点検を実施するとともに、園路灯の取替修繕など維持管理を行った。

また、KIRAKIRA ミッションやマルシェなどのイベント開催に協力し、連携に努めた。

そのほか、毎月第2・第4木曜日を「公園清掃美化の日」と定め、財団職員による清掃活動を行った。

(6) 富山県花総合センターの管理運営

① 施設の管理

指定管理者として、富山県花総合センターの施設管理を適正に行った。温室や本館施設の設備点検及び消防設備点検を行うとともに、園内花壇や温室の管理を行った。

② 花まつり、講座等の実施

ア 花まつり等実施報告

名 称	会 期 (日数)	内 容	人 数 (人)
チューリップフェア 特別展示 「世界の国から」	4/17(金) (1日間)	「世界の国から」をテーマにチューリップをはじめとした春の花々で彩った。また、研修室では、令和元年度県民緑花カレッジの受講生及び講師による植物スケッチの作品約60点を展示した。	30
初夏を彩る花まつり 2020 「初夏を楽しむ宿根草」	6/19(金) ～ 6/21(日) (3日間)	「初夏を楽しむ宿根草」をテーマに、富山県でも路地栽培が可能な丈夫さと美しさを兼ね備えた、初夏から見頃を迎える宿根草のほか、季節の草花で展示ホールを彩った。つる性宿根草の「クレマチス」40品種も展示した。	4,800
秋を彩る花まつり 2020 「ハロウィン」	10/16(金) ～ 10/18(日)	「ハロウィン」をテーマに、色や形も様々なカボチャや、トウガラシ等のオレンジや紫のハロウィンらしい色合いの実物、サルビアやダリアなどの季節の草花で展示ホールを彩った。また、研修室では、令和2年度県民緑花カレッジ講座「花をきれいに撮る」コース受講生による作品を展示した。	3,318
早春を彩る花まつり 2021 「フラワーバレンタイン」	2/12(金) ～ 2/14(日) (3日間)	「フラワーバレンタイン」をテーマに、チューリップやスイセンなどの球根植物と、県内の鉢花生産者が育成したプリムラやデージーなどの早春の草花で、展示ホールを一足早い春で彩った。研修室では、促成栽培で開花させた160品種のスイセンを展示した。	4,182

イ 季節展示報告

名 称	会 期 (日数)	内 容
「サイネリア」	3 / 6 (金) ～ 4 / 12 (日) (38日間)	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培されているサイネリアを中心にチューリップやクリスマスローズなど季節の花々を展示した。
「ゼラニウム」	5 / 20 (水) ～ 6 / 14 (日) (26日間)	花の美しさを楽しむゾーナル系やアイビー系のゼラニウムの花色が珍しい品種を中心に展示した。
「インパチェンス」	6 / 22 (月) ～ 7 / 6 (月) (15日間)	夏の花壇を彩る草花として人気があり、アフリカホウセンカの和名で親しまれているインパチェンス20品種などを立体的に展示した。
「パイナップル科の植物」	7 / 10 (金) ～ 9 / 6 (日) (59日間)	パイナップル科の植物や観葉植物を展示し、夏季の屋内ガーデニングを提案した。
「アガベとアロエの仲間」	9 / 11 (金) ～ 10 / 11 (日) (31日間)	中南米原産で姿形の面白さで人気のアガベと、南アフリカ原産で見た目の面白さから注目されているアロエの仲間を展示した。
「紅葉を楽しむ多肉植物」	10 / 23 (金) ～ 11 / 15 (日) (24日間)	中南米原産で色鮮やかな葉が重なってロゼットを形成するエケベリアの中でも、晩秋から春にかけて日によく当たると葉がきれいな紅葉色に染まる品種を中心に展示した。
「クリスマス」	11 / 21 (土) ～ 12 / 24 (木) (34日間)	県内の鉢花生産者が育てたシクラメン60品種800鉢を品種毎に展示した。また、高さ5mのクリスマスツリーをクリスマスカラーである赤とゴールドのボールオーナメント1,300個とリースやリボン、1,600球の電球で華やかに彩った。
「お正月(ハボタン)」	1 / 4 (月) ～ 1 / 18 (月) (15日間)	「お正月」をテーマに、ハボタン1,200鉢で今年の干支である「丑」を可愛らしく象った。展示植物のうち、ロウバイは花の少ない時期冬季(1～2月)に咲く植物として珍重されており、ホール内にスイセンに似た芳香を漂わせ、来場者を楽しませた。また、会場内では、切花を使ったお正月アレンジと、餅花や凧、扇子、羽子板などの装飾でお正月を演出した。
「プリムラ」	1 / 24 (日) ～ 2 / 7 (日) (14日間)	春の訪れを感じさせるチューリップやフリースヤ、ランタンキュラスなどの球根植物や、シンビジウム、ガーベラなど花々で彩った。
「キク科の植物」	3 / 19 (金) ～ 4 / 11 (日) (24日間)	卒業式シーズンに合わせて富山県内でも多く栽培され、栽培農家独自の品種も生まれているサイネリアを主に、ユリオプスデージーやオステオスペルマムなどの鉢物を展示した。

③ コンテスト・講座等事業

ア コンテスト

名 称	会 期 (日数)	内 容	人数 (人)
第11回 コンテナガーデン コンテスト	10/1(木) ～ 10/18(日) (18日間) [植込日 : 10/1] [審査日 : 10/12] [表彰式 : 10/18]	県民の緑花意識の向上と花の普及を目的として、コンテナガーデンの腕前(デザイン・管理など)を競うコンテストを実施した。50人の参加者が県内の生産者が育てた花苗25種類1,000鉢の中から8鉢を選び、指定のコンテナに植え込み、約2週間後の審査を経て「秋を彩る花まつり2020」最終日まで管理を行った。	50

イ 県民緑花カレッジ講座

名 称	月 日	内 容	延べ人数 (人)
フラワーアレンジメント 基礎コース	7/19(日) 9/22(火・祝) 12/26(土) 2/20(土)	ジニアなどのプリザーブドフラワー、ヘリクリサムなどのドライフラワーを使ったリースづくり、プリザーブドローズのアレンジメント、生花を使ったお正月のアレンジメント、花桃を使った節句のアレンジメントの基礎を学ぶ。	68
フラワーアレンジメント 応用コース	7/19(日) 9/22(火・祝) 12/26(土) 2/20(土)	ジニアなどのプリザーブドフラワー、ヘリクリサムなどのドライフラワーを使ったリースづくり、プリザーブドローズのアレンジメント、生花を使ったお正月のアレンジメント、花桃を使った節句のアレンジメントの応用を学ぶ。	64
花と暮らす	6/6(土) 7/11(土) 9/12(土)	エレガガーデンを特徴付ける3種類の花(洋ラン、スプレーギク、バラ)を暮らしに生かす方法を学ぶ。 [全3回]	27
洋ランを育ててみよう	6/14(日) 7/5(日) 9/5(土) 11/7(土)	カトレヤの年間管理・ランの栽培管理について学ぶ。 [全4回]	68
季節の寄せ植えづくり 基礎コース	6/27(土) 9/26(土) 12/12(土)	季節ごとの寄せ植えの作り方とその管理の基礎を学ぶ。 [全3回]	72
季節の寄せ植えづくり 応用コース	6/27(土) 9/26(土) 12/12(土)	季節ごとの寄せ植えの作り方とその管理の応用を学ぶ。 [全3回]	72

バラづくり 初級コース	6 / 7 (日) 7 / 4 (土) 8 / 30 (日) 12 / 5 (土) 2 / 27 (土)	用語から年間を通じた管理まで、バラに関する基礎知識を学び、バラの奥深さを知る。 [全5回]	115
バラづくり 中級コース	6 / 3 (水) 7 / 1 (水) 8 / 26 (水) 12 / 2 (水)	初級からレベルアップした、バラを楽しむためのより実践的な実際を学ぶ。 [全4回]	68
花をきれいに撮る	6 / 2 (火) 7 / 7 (火) 8 / 11 (火)	チューリップやバラなど園内に咲く花を撮影し、どのように作品作りをするかについて学ぶ。 [全3回]	36
植物画		新型コロナウイルス感染拡大の為中止	

ウ 県民緑花オープン講座実施

名 称	月 日	内 容	人数 (人)
県民緑花オープン講座 〈第1～17回開催〉	6 / 6 (土)	暑さに強いランタナの育て方、生産者から学ぶ初夏の寄せ植え、花と緑の病害虫対策、秋野菜づくりのポイント、草花の冬越し準備、多肉植物の寄せ植え、生産者から学ぶ秋の寄せ植えづくり、生産者から学ぶ宿根サルビアの寄せ植えづくり、スイセンと秋植え球根の寄せ植え、雪吊りの基礎、プリザーブドフラワーアレンジメント「クリスマス」、お正月の寄せ植え、フラワーアレンジメント「お正月」器付き、フラワーアレンジメント「お正月」器持参、生産者から学ぶ早春の寄せ植えづくり(プリムラ)、生産者から学ぶクリスマスローズの育て方、シンビジウムの植え替えと管理についての講座を行った。 [全17回]	312
	6 / 13 (土)		
	7 / 18 (土)		
	7 / 26 (日)		
	9 / 19 (土)		
	9 / 21 (月・祝)		
	10 / 3 (土)		
	10 / 10 (土)		
	10 / 31 (土)		
	11 / 14 (土)		
	11 / 21 (土)		
	12 / 19 (土)		
	12 / 24 (木) (2回)		
	1 / 23 (土)		
	2 / 6 (土)		
	3 / 6 (土)		

④ スイセンほ場の管理

現在の保存品種225品種について、形質を良好な状態で維持・管理した。4月上旬からの開花期には見ごろ看板を設置し、来園者を開花中のほ場へ誘導してスイセンの魅力をPRした。

⑤ 立体花壇及びモデル花壇、バラ花壇等管理

立体花壇（正面入り口：ウォール）の図柄について、4～6月はビオラを使いチューリクんとリップちゃんが遊ぶ姿、7月～11月はハートを描いた。

モデル花壇では、とやま鉢花組合で生産された花苗を植栽し良好に管理した。

バラ花壇では50品種のバラを維持管理して、5月下旬～6月上旬、10月中旬～11月上旬の開花時期には新聞等に取り上げられ多数の来園者があった。

⑥ 展示温室の管理

年間を通じ亜熱帯性植物や洋ラン類を良好な状態で維持管理して展示した。

⑦ 富山県花総合センター利用者増への取組

花まつり等イベントや季節展示、花の見頃情報、講座の募集についてのPRをチューリップ四季彩館と一体的に行ったほか、広報となみやリップちゃんのブログ、ホームページを活用し相互の連携を図るとともに、ポスターやチラシを配布した。また、イベント開催を案内する看板やのぼり旗を設置しPRを行った。

花まつりの開催中に実施した寄せ植え体験コーナーやとやま鉢花生産者組合青年部による花苗の販売が来園者に好評であった。

花まつり以外の期間も季節感のある展示テーマを設け、季節展示を展示ホールにて行った。

⑧ 施設設備の維持管理

展示温室屋根修繕、展示温室ヒーター設置、栽培温室内張カーテン修繕などの修繕を実施した。

3 公益目的事業3

(1) となみ散居村ミュージアムの管理・運営

① 施設・設備の管理・運営

指定管理者として、ミュージアムの施設管理を適正に実施した。敷地内の美化については、除草、防除、剪定など、適時実施し、施設の不具合等については、速やかに修繕を実施した。

散居村の保全活動等については、散居村に関する写真・パネル等の常設展示のほか、小学校のふるさと学習等を受け入れるなど、散居村に対する理解を深めた。

また、博物館類似施設としてレファレンス業務に対応した。

空き家利活用事業及び砺波散村地域研究所事業の受託業務を実施した。

となみ野田園空間博物館推進協議会事務局及び全国散居村連絡協議会業務を担った。

施設利用状況

区 分	利用 者 数		利用 対 比 R2/R1
	令和2年度	令和元年度	
情報館・交流館・伝統館	15,822人	26,449人	59.8%
民具館	2,864人	4,742人	60.4%
合 計	18,686人	31,191人	59.9%

② 展示・施設利用

ア 企画展示等

名 称	期 間 (日数)	内 容	人 数 (人)
情報館	4/ 1(水) ～ 3/31(水)	エントランスで散居村に関する写真・パネル等の常設展示	15,822
民具館	4/ 1(水) ～ 6/28(日)	第45回企画展 宮脇 春美 パステル画展 ～ 想・心の風景 ～	286
	7/ 4(土) ～ 11/ 8(日)	第46回企画展 丘 まち子・きりえ展 ～ 妖精たちと共に ～	1,117
	11/14(土) ～ 3/ 7(日)	第47回企画展 安達 陽子 木彫展 ～ 夢、希望、そして未来へ ～	1,213
	3/13(土) ～ 3/31(水)	第48回企画展(会期 R3.6.27まで) 松本 昌子 創作人形展 ～ 時間も空間も超えて・・・ ～	205
	[募集期間] 1/ 4(月)～ 2/16(火) [審査] 3/ 5(金)	第20回となみ野散居村フォトコンテスト・ビエンナーレ作品募集 フォトコンテスト実行委員による審査 応募点数243点 入賞43点の選考	令和3年 4月展示

イ 常設展示

展示名	内容等
情報館	エントランス、ワクノウチにて散居村関連パネル等の展示
民具館	生活・生産用具（国重文）の展示

③ となみ野田園空間博物館推進協議会の業務受託
担当者会議、幹事会、総会の開催

ア 散居村学習講座

名称	期 日	内 容 等	人数（人）
第1回 学習講座	7 / 4 (土)	国道 359 号砺波東バイパスについて 富山河川国道事務所 折橋 一禎 氏 河岸段丘にある遺跡群 徳万頼成遺跡を中心に 富山県埋蔵文化財センター前所長 安念 幹倫 氏	45
第2回 学習講座	8 / 1 (土)	砺波地方における真宗の伝播と“勝興寺” 郷土研究家 尾田 武雄 氏 白江 秋広 氏 重要文化財“勝興寺”保存修理事業の完工を 迎えて針山 康雄 氏 針山 和子 氏	49
第3回 学習講座	8 / 29 (土)	水路網の発達から転落事故対策まで 富山県立大学准教授 砺波散村地域研究所員 星川 圭介 氏	40
第4回 学習講座	9 / 24 (木)	扇状地流域見学会 手取川扇状地編 地形・土地利用・集落展開にみる庄川扇状地と の異同 石川県立大学教授 瀧本 裕士 氏	20
第5回 学習講座	10 / 10 (土)	在来・在地産業のパースペクティブ（可能性） 富山における酒造業 高岡法科大学教授 石川 啓雅 氏	42
第6回 学習講座	10 / 31 (土)	きりえ作家50年 求められた“個性の確立” 心のふるさと飛騨高山から きりえ作家 義基 憲人 氏	40
第7回 学習講座	11 / 27 (金)	加賀藩の古城跡調査と幕府巡見使・国目付 とやま歴史的環境づくり研究会 高岡 徹 氏	60

イ 学習資料の作成

「屋敷林づくりの手引き」 散居景観保全活動資料

「散居村下敷き」 散居村啓発品

「散居村紹介チラシ・パネル」刷新 アズマダチ、砺波平野の水

「小学3年生向け郷土学習教材パンフレット」 ふるさと学習講座資料

ウ 第14回小中学生写真コンテスト 写真展の実施 応募総数229点

エ 「あずまだち高瀬」「いのくち椿館」との連携事業を実施

いのくち椿まつりの開催

④ 空き家利活用事業の業務受託

市企画調整課砺波暮らし推進班と連携し、空き家情報を収集した。

空き家利活用希望者及び移住検討者に対し、空き家情報の提供、紹介業務を行った。

ア 定住体験施設「佐々木邸」の管理及び利用者の受け入れ

利用期間	利用組数	利用人数
14日間	4組	23人

イ 第2のふるさと発見事業として、都市部の大学ゼミ活動の受け入れ

期間	大学ゼミ名	人数 (人)
10/24(土)～25(日)	富山大学 中井教授ゼミ	13

⑤ 砺波散村地域研究所事業の業務受託

他研究機関と連携した散村に関する総合的な調査研究の実施

となみ野の景観資源の活用に向けた研究の実施

例会、見学会、小学3年生を対象としたふるさと学習などの開催（次表を参照）

研究紀要第38号の編集

大学等の研究機関又は生涯学習団体の研究学習活動に対する支援

名称	期 日	内 容 等	人 数 (人)
運営協議会	6 / 2 6 (金)	出席委員9人(1人欠)により令和元年度活動報告を中心に意見があり、令和2年度活動については社会情勢を踏まえるよう提言された。	1 3
第1回 所員会議	6 / 2 7 (土)	研究紀要第37号の刊行が報告され、令和2年度事業計画の大幅な縮小が承認された。	1 0
第2回 所員会議	8 / 1 3 (木)	第77回例会の開催について ほか協議	1 0
見学会	9 / 2 4 (木)	扇状地流域見学会 ～手取川扇状地編～ 「手取川扇状地にみる庄川扇状地との地形・ 土地利用・集落展開の異同」 見学先 石川ルーツ交流館、多川家ほか 石川県立大学教授 瀧本 裕士 氏	2 0
第77回例会	9 / 2 6 (土)	○講演 ・「室町幕府と鎌倉幕府の政治関係 ～ 足利義持期を中心に ～」 福光中学校教諭 亀ヶ谷 憲史 氏 ・「苗加次郎右衛門の怪力譚」 金沢大学教授・砺波散村地域研究所員 黒田 智 氏 ・「高岡山瑞龍寺伽藍の創建過程 ～ 砺波郡との関わりにもふれつつ ～」 富山郷土博物館主査学芸員 萩原 大輔 氏	7 0
ふるさと学習 講座 (小学3年生)	1 / 1 5 (金) ～ 2 / 1 9 (金)	散居村ミュージアム民具館受け入れ 10校 1月15日(金) 出町小学校 80人 1月19日(火) 井口小学校 11人 1月25日(月) 砺波東部小学校 107人 1月28日(木) 福光中部小学校 57人 1月29日(金) 井波小学校 48人 2月 2日(火) 福光南部小学校 11人 2月 4日(木) 福光東部小学校 40人 2月 8日(月) 庄川小学校 40人 2月 9日(火) 福野小学校 101人 2月19日(金) 砺波南部小学校 31人 砺波民具展示室(庄東小学校内)受け入れ 3校 2月 2日(火) 鷹栖小学校 24人 2月 5日(金) 庄東小学校 43人 2月10日(水) 砺波北部小学校 31人	5 2 6 (6 2 4)
第3回 所員会議	3 / 2 0 (土)	令和2年度活動報告及び令和3年度事業計画について	1 4

※ 第1回所員会議において、庄川流域見学会、小中高校生を対象とした散村地域学習講座の中止を決定した。

4 収益目的事業1（施設貸与事業）

施設貸与事業は、市民の文化・教養活動や福祉の増進、或は興行・商業宣伝等のために、砺波市民並びにその他の者に各施設を貸与し、利用者の利便を図った。

（1）砺波市文化会館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で大ホール、練習室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（2）砺波市文化会館施設管理運営事業 ① 施設利用状況のとおり

（2）砺波市砺波農村環境改善センター施設貸与事業

- ① 施設利用状況

施設名	区 分		利 用 日 数			利 用 者 数		
			2年度	元年度	利用対比 R2/ R1	2年度	元年度	利用対比 R2/ R1
改善センター	多目的ホール	利用日数	日 141	日 215	% 66	人 10,169	人 43,776	% 23
		利用率	46%	65%	—			
	その他 (5部屋)	利用日数	483	872	55	6,836	14,292	48
		利用率	31%	51%	—			
	合 計	利用日数	624	1,087	57	17,005	58,068	29
		利用率	34%	54%	—			

（3）庄川水資料館施設貸与事業

- ① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和2年度（人）	令和元年度（人）	備 考
映像ホール	0	0	

（4）庄川生涯学習センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で多目的ホール、研修室等の施設の貸与を行った。
1 公益目的事業1（9）庄川生涯学習センター施設貸与事業 ① 施設利用状況のとおり

（5）チューリップ四季彩館施設貸与事業

- ① 公益目的以外でホールの施設の貸与を行った。
1 公益目的事業2（4）チューリップ四季彩館の管理運営事業 ① 施設の管理、施設利用状況のとおり

（6）富山県花総合センター施設貸与事業

- ① 公益目的以外で研修室等の施設の貸与を行った。

(7) となみ散居村ミュージアム施設貸与事業

① 公益目的以外で交流館等の施設の貸与を行った。

区 分	利 用 者 数		
	令和2年度(人)	令和元年度(人)	備 考
研修室ほか	6,372	10,039	

5 収益目的事業2(付帯事業)

付帯事業は、市民の教養や福祉の増進、あるいは美術資料の収集のためにサービスを提供し、もって利用者の利便を図った。

(1) 砺波市文化会館付帯事業

① 砺波市文化会館ホールメイト事業は、会員登録を行うことにより、砺波市文化会館事業のチケットを、通常より2週間早くまた5パーセント引きで購入できる先行販売の特典があるサービスを行った。

また、他施設の公演チケットの受託販売及び施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(2) 砺波市美術館図録販売等事業

① 美術展図録、ミュージアムショップでのポスター等の販売及び他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(3) 庄川美術館図録販売事業

① 美術展図録及び、他施設の美術展入場券の委託販売を行った。

(4) 水資料館付帯事業

① 公益目的以外で映像ホールの貸与を行った。

② ポストカード等の販売を行った。

(5) 庄川生涯学習センター付帯事業

① 公衆電話の設置及び他施設の公演チケットの受託販売並びに施設利用者へのコピーサービス等を行った。

(6) チューリップ四季彩館付帯事業

① 花苗及び緑化に関する製品・記念品等の販売を行った。

(7) 富山県花総合センター付帯事業

① 花苗や花鉢の販売を行った。